アンチ・エコ

京都大学経済学部　坂出ゼミ
岩田・末松・谷口・松原

もくじ

1. エコに対する日本の取り組み
2. エコに対する海外の取り組み
3. エコ制度は本当にエコなのか？
4. 何のためのエコ？
5. 論点提起

１．日本のエコ政策

低炭素社会への取り組み

- 1992年5月、国連総会にて「気候変動に関する国際連合枠組み条約」が採択される

この条約を達成するために

- 1997年12月、京都で開催された「気候変動に関する国際連合枠組み条約・第三回締約国会議（COP3）」において、京都議定書が議決される

京都議定書とは？

- 地球温暖化の原因となる、二酸化炭素やメタン、亜酸化窒素などについて、先進国における削減率を1990年を基準として各国別に定め、共同で約束期間内に削減目標値を達成することを定めている。
- 2008年から2012年の間に、先進国全体の温室効果ガス6種の合計排出量を、1990年に比べて少なくとも5%削減することを目的と定めている。

日本の削減目標は･･･

－6%

日本政府の取り組み

2009年・総選挙時の民主党のマニフェスト

エネルギー・環境関連政策の根幹には・・・

「2020年までに温室効果ガスの排出量を1990年比で25%削減、2050年までには60%超を目標にする」という概念が存在

具体的施策の例

・地球温暖化対策税の導入を検討する

・太陽電池、低公害車や電気自動車、省エネ家電などの導入を促すための助成等処置を講ずる

地球温暖化対策税の導入を検討する

・課税対象は、⑴原油、石油製品（ガソリン・重油・軽油・航空機燃料）、⑵ガス状炭化水素（天然ガス・LPGなど）、⑶石炭の予定

・原油や石炭などの輸入者や採掘者に対して課せられる

・税収は地球温暖化対策に充てることで、CO_2削減と環境関連産業の育成による経済の活性化を図る

③太陽電池、低公害車や電気自動車、省エネ家電などの導入を促すための助成等処置を講ずる

具体的な政策の代表例

・エコポイントの導入

・エコカー購入補助金制度の導入

エコポイントとは？

- 省エネルギー性能の高いエアコン・冷蔵庫・地上デジタル放送対応テレビの購入者に対して一定のエコポイントを付与し、これを使用して商品（電子マネーや金券等）を交換できるシステム

  - 平成21年度補正予算案として成立。事業予算は約3000億円

  - ポイントが付与されるのは2009年5月15日から2010年12月31日の購入分まで

エコカー購入補助金制度とは？

- 国土交通省が定める排気ガスと燃費の基準値をクリアした自動車の自動車重量税や自動車取得税を基準に応じて50～100%減税

  - 13年以上使用した車を廃車し「2010年度燃費基準達成車」に買い替えると、一定の金額を補助する

  - 「プリウス」「インサイト」といったハイブリッド車に限らず、売り上げ上位の人気車種はもれなく対象

２．海外のエコ政策

政府による環境政策の例1（ドイツ）

- ドイツの太陽光発電の補助金

（世界の太陽光電池の2つに1つはドイツ製と言われているが…）

- $1250億ものコストをかけておきながら、太陽光の国内のエネルギー源割合は0.25%

→今年になって補助金は2割カットされる

政府による環境政策の例2
（バイオ燃料）

- グリーン燃料を呼ばれるものは総じて高コスト

- 中でもバイオ燃料は農業補助金に利用されている、あるいはCO_2のかわりにN_2O(亜酸化窒素)を放出する、といった問題点が指摘されている。

（ちなみにN_2OはCO_2の310倍の温室効果がある。）

海外におけるエコへの関心

- 2005-06年前後で各国のリーダー達が次々CO2大量削減を宣言

- ブレア(イギリス)「60%減らします」(2007)
- メルケル(ドイツ)「20%削減します」(2007)

- オーストラリアでは温暖化対策を強く打ち出したラッドが当選。「グリーンな首相」と呼ばれる

  →後に財政悪化により公約を撤回し、失脚。

エコへの関心の低下

- 「あなたは気候変動を懸念しますか？」

  62%（2006）→42%(2010) （ドイツ）

- 「温暖化は差し迫った問題ですか？」 75%(2007)
  →53%(2010)（オーストラリア）

- アメリカの差し迫った21の問題のうち

  「気候変動」は世論調査で最下位 （アメリカ）

エコ政策は
本当にエコなのか？

具体例

- 太陽光発電
- バイオエタノール
- エコカー・エコポイント制度

太陽光発電

- ゴビ砂漠全部に太陽光発電をしきつめますと、現在地球上で人間が使っているエネルギーの全てをまかなうことができます。

- なぜ実行しないのか？

実行できない原因

- 太陽電池の価格が高い。
- 作った電気の変電・送電コストが高い。
- 電力を蓄えるシステム構築のコストが高い。

- 電力変換効率は10%程度

日本の太陽光発電普及政策

- 太陽光発電設置に対する補助金

  国：7万円/1kW

  自治体：それぞれの政策による

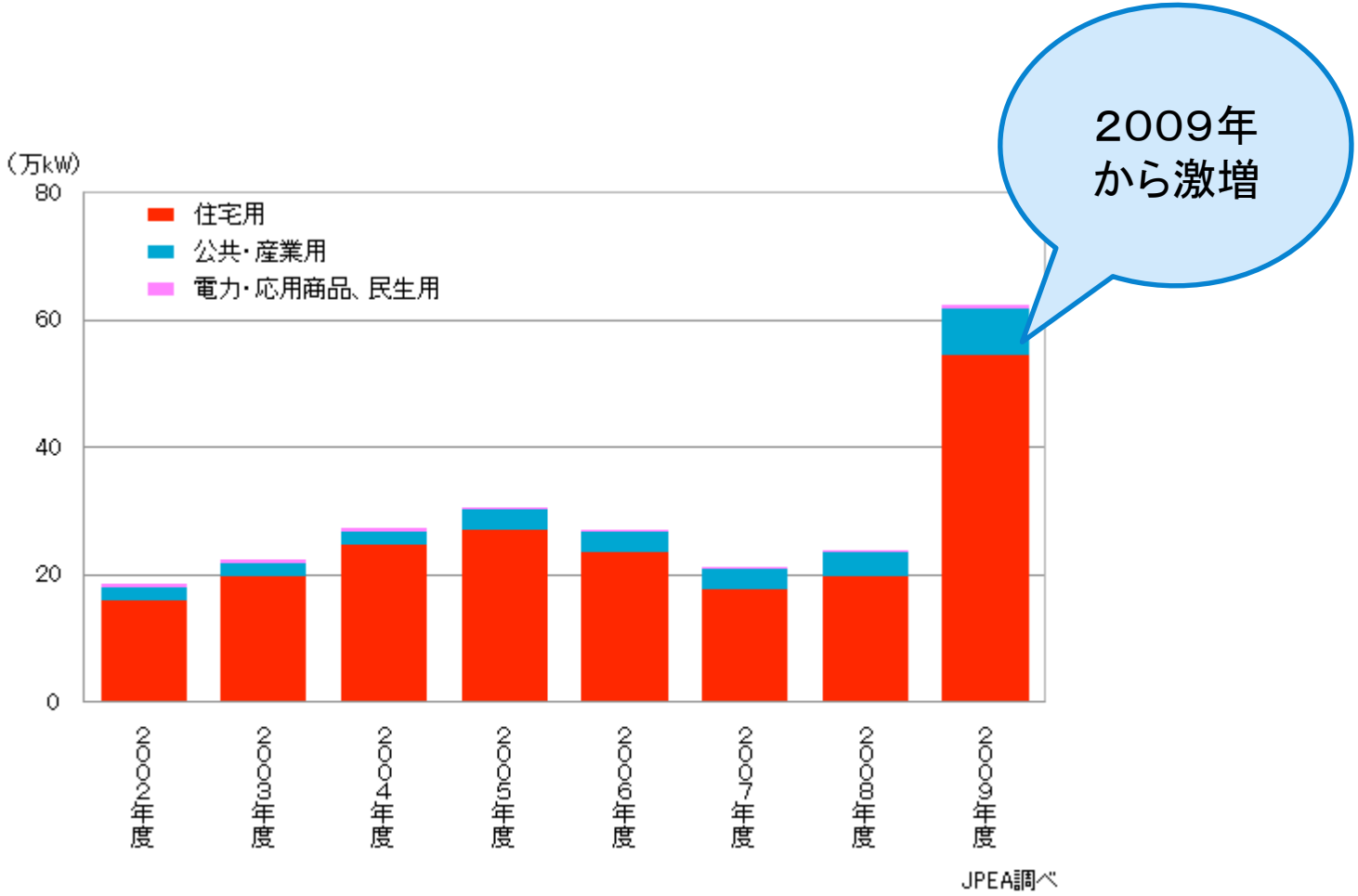
  ex)京都市：5万円/1kW

- 太陽光発電の余剰電力買取制度

  初年度の値段で10年間購入

  住宅用：48円/1kW

太陽光発電パネル出荷数



そもそも太陽光発電はエコか？

- 各家庭が発電し、電力会社の電力が余る
- 発電所を稼働停止するわけにはいかない

- 各家計単位では節約になる
- 社会全体でみればエコにならない

- 太陽光発電はエコではない
- 補助金支給再開と買取金額UP
- ２００９年を境に、販売数が激増
- 補助金は企業への資金援助？

バイオエタノール

- バイオマス（サトウキビやトウモロコシ）を発酵させ、蒸留して得られるエタノール
- 再生可能な自然エネルギー
- カーボンニュートラル性有り

カーボンニュートラル

- 自然の植生では・・・

- ①植物の成長のために吸収して固定するCO_2
- ②植物の枯死のために排出されるCO_2

- ①≒②が成り立つ

  →余分なCO_2は発生しない

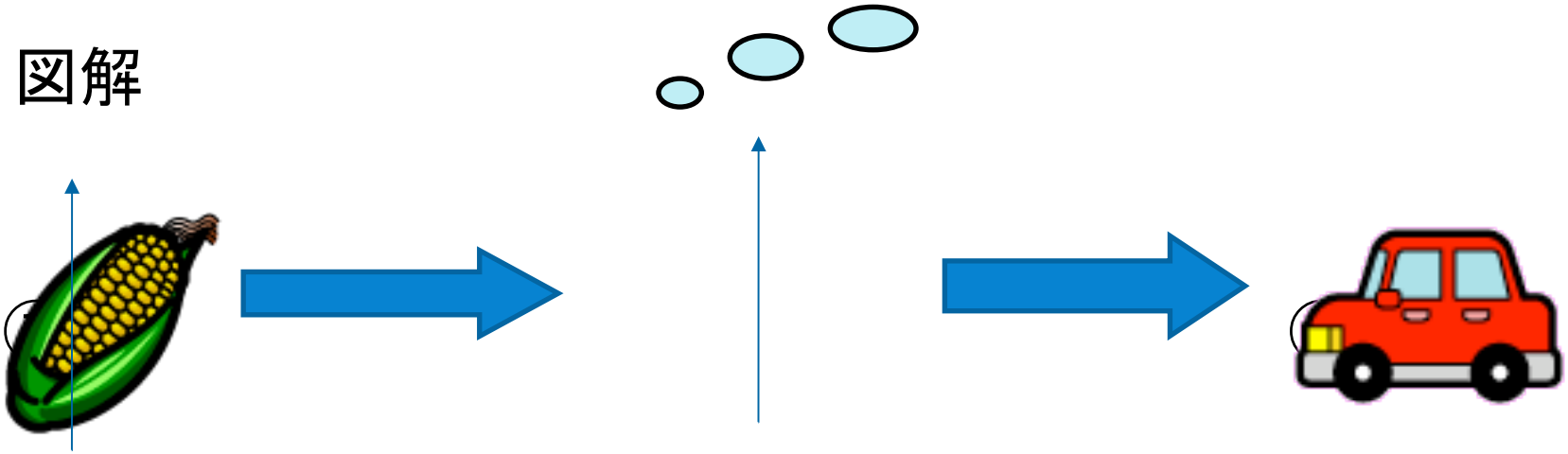
- バイオエタノールを利用する場合

- ①植物の成長のために吸収して固定するCO_2
- ②成長過程のエネルギー投入によるCO_2
- ③生産工程のエネルギー投入によるCO_2
- ④燃料消費によるCO_2

- ①≒④であり、①＜②＋③＋④

  →カーボンニュートラルは成立しない

- 図解



日本のバイオ政策

- バイオマス・ニッポン総合戦略

  （2002年12月閣議決定）

- 農林漁業バイオ燃料法

  （2008年10月1日施行）

バイオマス・ニッポン総合戦略

- 1997年の地球温暖化防止京都会議

京都議定書

- 地球温暖化防止・CO2の削減が目的

農林漁業バイオ燃料法

- 正式名称:

「農林漁業有機物資源のバイオ燃料の原材料としての利用の促進に関する法律」

- 危機にある日本の農業を救済する手段としてバイオ燃料を生産・利用する
- CO2の削減

- 目標：CO2の削減

↓

農業の救済

- バイオエタノールはエコが目的ではない
- 農業保護に耳触りのいい理由をつけたもの

エコポイント

- 「エコポイントによるグリーン家電普及促進事業」で付与されるポイント

- 地球温暖化対策の推進
- 地域の活性化
- 地上デジタル放送対応テレビの普及

エコカー

- エコカー減税

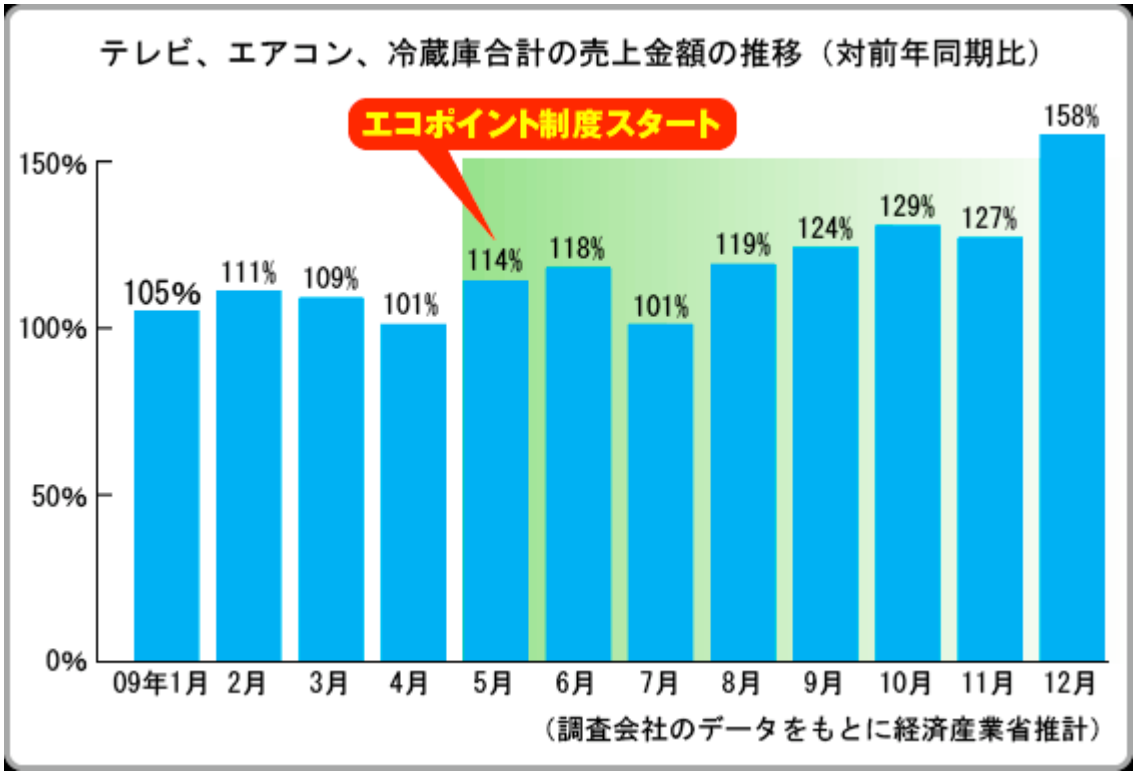
  重量税と取得税が免除または軽減

- エコカー補助金

  エコカーに買い替え→25万円

  エコカーを追加購入→10万円

家電売上金額の推移


テレビ、エアコン、冷蔵庫合計の売上金額の推移（対前年同期比）
エコポイント制度スタート
150%
100%
50%
0%
105%
111%
109%
101%
114%
118%
101%
119%
124%
129%
127%
158%
09年1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
（調査会社のデータをもとに経済産業省推計）

- エコポイント・エコカー制度開始

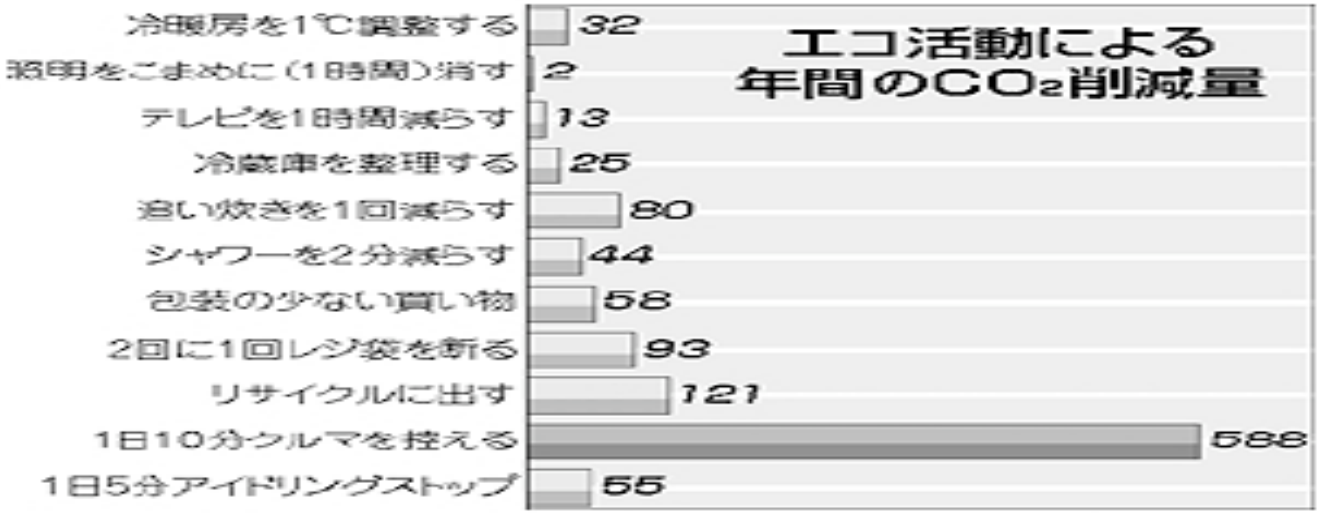
↓

- 売り上げUP↗↗ （制度の期間のみ）

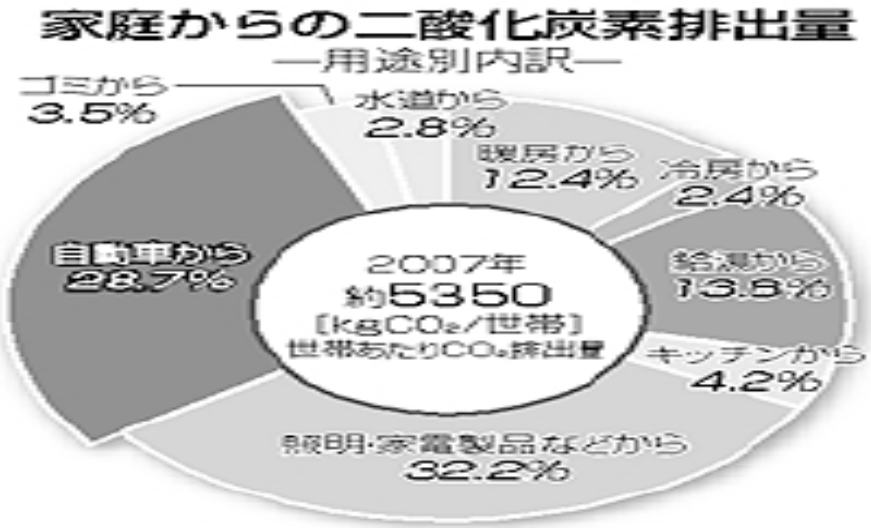
  →買い替えだけでなく買い足しにも補助

- 買い替えなら消費電力は減少
- 買い足しなら消費電力は増加

- 消費促進効果のみ！？
- エコ効果に疑問



出典：東京工業大学藤井研究室、神奈川県資料から



出典：温室効果ガスインベントリオフィス

まとめ

- 政府はエコという名目で政策を行う
- 本当にエコなのか疑わしい
- 産業援助のために、エコという隠れ蓑を使っていることが多い

何のためのエコ？

～エコ政策の果たすべき役割～

エコ政策の意義

- 本来、環境保全のための政策であるべき

↓ しかし、

- 環境保全の意識を利用した他方面への政策

  例）太陽光発電普及政策・エコポイント

- 環境への効果には疑問が残る

エコ政策の姿

環境保護を語る

- あるべき姿
  - アウトライン テキストの書式を編集するにはクリックします。
    - 2レベル目のアウトライン
      - 3レベル目のアウトライン
        - 4レベル目のアウトライン
          - 5レベル目のアウトライン
          - 6レベル目のアウトライン
          - 7レベル目のアウトライン

環境保護政策・活動・運動

環境への負荷を減らす

豊かな環境が保全される

- 今ある姿
  - アウトライン テキストの書式を編集するにはクリックします。
    - 2レベル目のアウトライン
      - 3レベル目のアウトライン
        - 4レベル目のアウトライン
          - 5レベル目のアウトライン
          - 6レベル目のアウトライン
          - 7レベル目のアウトライン
          - 8レベル目のアウトライン
          - 9レベル目のアウトライン

政策・活動・運動

諸分野の発展・保護に貢献

環境への効果は疑問

- 2レベル目のアウトライン
  - 3レベル目のアウトライン
    - 4レベル目のアウトライン
      - 5レベル目のアウトライン
      - 6レベル目のアウトライン
      - 7レベル目のアウトライン

マスタ テキストの書式設定

エコと二酸化炭素削減

二酸化炭素削減

↓

地球温暖化抑制

↓

環境の変化・砂漠化・海面上昇抑止

環境に良い

温暖化の原因

- 近年、CO2の過剰排出が原因と考えられてきた
- 本当にそうなのか？

- 地球の気候・気温変動周期という説も
- CO2の過剰排出は仮説の１つでしかない

CO2削減の意義

- 「CO2削減＝環境にいいこと」が前提になっているが、事実か否かは明確ではない
- しかし、その前提で社会は動いている
  - 太陽光発電
  - バイオエタノール
  - エコポイント

求められるエコ政策

- CO2削減よりも優先すべきエコ政策はないのだろうか？

- 「限りある」資源の保全・節約・有効活用などが考えられる

まとめ

エコは環境を守るためのもの

他分野の発展に寄与するための口実ではない

論点提起

論点1

- 今現在行われているエコ政策は必要なものなのか？

論点2

- 今現在必要だと考えられるエコ政策は具体的にどのようなものか？